

かめっ子だより No.193

令和8年2月13日
八尾市立亀井小学校
校長 柴山 八寿夫

いくつ運べるかな？ 亀井小学校版 “おはし検定”

昨年6月のかめっ子祭り。先生方のお店で“おはし検定”を実施。多くの名人が誕生しました。夏休み、その名人の中から万博で行われた“豆つかみゲーム大会”に参加。見事日本一に輝く。そして3学期、全学年で“おはし検定”に挑戦。名人は、どれだけ誕生するでしょうか？ “おはし検定”にも細かなルールがいっぱい。

- 《基本》①上のおはしは鉛筆のように持つ
②下のおはしは薬指にのっている
③先が揃っている
④動かすのは上のおはしだけ

《7級》正しい持ち方ができる

《6級》正しい持ち方で10回動かせる

その状態で、豆運びに挑戦。15粒の豆をAのカップからBのカップに運びます。制限時間は30秒。いくつ豆が運べるかで級が決まります。

《5級》1～3個

《4級》4～6個

《3級》7～9個

《2級》10～12個

《1級》13～14個

《名人》15個

豆も大豆と小豆があり、高学年の名人が小豆に挑戦できます。さあ、名人めざして頑張りましょう！



今月の詩 “こころにつぼみが”

誰かに優しくされた喜びが、自分も他の人に優しくしたいという気持ちへと繋がり、心の中で花が咲くように広がっていく温かい心情が描かれています。

「ありがとう」って、とてもいい響きですね。この詩のように、みんなの優しさと感謝の気持ちがいろいろな所に広がって、きれいな花を咲かせることを願っています。春は、もうすぐそこまできていますね。

